２０１８年度（平成３０年度）事業報告書

事業の総括

湘南海岸の海浜植生の保護活動を幅広く続けていくためには、当団体独自募集をかける手法から地域の様々な団体とのネットワークを形成することに心がける一年間でした。また、海浜植生を保護する活動には、この湘南海岸を利用する様々な人たちとの認識の共有に心掛けることが大切なこととして、『湘南海岸カントリーコードを考える交流会』を開催しました。地域の野生生物資源を生かす試みを進めました。

（１）生態系の保全・保護に係わる事業

内容

苗づくりから移植にいたる活動

従来の、イベントを伴った復元活動は続けつつ、地域の小学校において種まきから浜辺に植栽する体験学習をおこないました。湘南海岸主に茅ヶ崎エリアの植生調査を始めました。

広報等対外活動

藤沢市みどりいっぱい市民の会総会にて、湘南海岸の海浜植生帯の変遷と在来植物の現状について講演をおこないました。８月には、インターンシップの高校生二名とともに会員三名が、静岡県浜松市内で開催された「ふるさと海辺フォーラム」に参加しました。

日　時　通年

場　所　湘南海岸ほか

従事者・参加者　延べ３８０人

事業費　６６３，１７４円

（２）障がい者の自立支援に係わる事業

内容

障がい者団体との交流事業

恒例の「ちがさき花火大会」の鑑賞は従来借用していた場所が無くなったため実施しませんでした。

（３）食糧生産事業に係わる事業

内　容

地域特産物づくり

　昨年に続きハマボウフウの栽培作物づくりを試験圃場でおこない、レストランでの食材提供を試みました。

日　時　通年

場　所　圃場

従事者　３人

事業費　４０，７２２円